

CKD

2008年3月期 中間決算説明会

証券コード：6407

CKD株式会社

代表取締役社長

石田正範

2007年11月14日

CKD

中間決算説明会 項目

- 1、2008年3月期 中間決算の概要
- 2、中間期の予想対比と通期の業績予想
- 3、配当
- 4、今後期待される商品

2008年3月期 中間決算の概要



当中間期の経営成績（前年同期比）

減収減益

自動機CCFL売上の減少により減収。

販売価格の低下、材料費の高騰、減価償却費の増加により減益。

（単位：百万円）

| | 2007年3月期 前中間期 | 2008年3月期 当中間期 | 前年同期比増減 | |
|-------------------|------------------|------------------|-----------------|-------|
| 売上高 | 51,365 | 49,593 | 1,771 | 3.4% |
| 営業利益 (同率) | 6,773 (13.2%) | 5,713 (11.5%) | 1,059 (1.7%) | 15.6% |
| 経常利益 (同率) | 6,745 (13.1%) | 5,654 (11.4%) | 1,090 (1.7%) | 16.2% |
| 中間(当期)純利益 (同率) | 3,974 (7.7%) | 3,825 (7.7%) | 148 (0.0%) | 3.7% |

当中間期の財政状態（前期比）

- ・ 総資産 . . . 売上債権及び、たな卸資産の減少。
退職給付信託の設定に伴う繰延税金資産の減少。
- ・ 純資産 . . . 自己株式の購入による減少。
社債の償還による資本金・資本準備金の増加。
利益剰余金の増加。

| | 2007年3月期 前期末 | 2008年3月期 当中間期 | 前期末比増減 |
|-------------|-----------------|------------------|-------------------|
| 総資産（単位：百万円） | 86,592 | 77,891 | 8,701 (10.0%) |
| 純資産（単位：百万円） | 44,964 | 47,554 | +2,590 (+5.8%) |
| 自己資本比率（%） | 51.9 | 61.1 | +9.2 |
| 1株当たり純資産（円） | 679.93 | 716.10 | +36.17 |

5

当中間期のキャッシュ・フローの状況（前年同期比）

- ・ 営業活動CF . . . 売上債権及びたな卸資産の減少。
- ・ 投資活動CF . . . 有形固定資産の取得。
- ・ 財務活動CF . . . 短期借入金の増加、自己株式の取得による支出。

| | 2007年3月期 前中間期 | 2008年3月期 当中間期 | 前年同期比増減 |
|------------------|------------------|------------------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,108 | 8,359 | 4,251 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 2,807 | 8,910 | 6,103 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 910 | 215 | 695 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 406 | 639 | 1,045 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 4,055 | 3,822 | 233 |

6

当中間期の損益計算書（前年同期比）

売上高の減少及び原価率の悪化により営業利益率が1.7%減少。

（単位：百万円）

| | 2007年度3月期 前中間期 | 2008年3月期 当中間期 | 前期比増減 | |
|---------|-------------------|------------------|---------|-------|
| 売上高 | 51,365 | 49,593 | 1,771 | 3.4% |
| 売上原価 | 36,585 | 35,802 | 783 | 2.1% |
| （売上原価率） | （71.2%） | （72.2%） | （+1.0%） | |
| 売上総利益 | 14,779 | 13,791 | 988 | 6.7% |
| 販管費 | 8,006 | 8,077 | +70 | +0.9% |
| 営業利益 | 6,773 | 5,713 | 1,059 | 15.6% |
| （営業利益率） | （13.2%） | （11.5%） | （1.7%） | |
| 経常利益 | 6,745 | 5,654 | 1,090 | 16.2% |
| （経常利益率） | （13.1%） | （11.4%） | （1.7%） | |

当中間期の機種別売上実績（前年同期比）

- 自動機械装置 . . . C C F Lの売上減少により前年同期比、大幅減収。
- 空気圧機器 . . . FPD製造装置及び自動車関連の設備投資減少により減収。
- 流体制御機器 . . . 半導体製造装置向けファイン機器の売上が寄与。

（単位：百万円）

| | 2007年3月期 前中間期 | 2008年3月期 当中間期 | 前年同期比増減 | |
|--------|------------------|------------------|---------|-------|
| 自動機械装置 | 14,659 | 12,386 | 2,273 | 15.5% |
| 空気圧機器 | 20,163 | 20,026 | 137 | 0.7% |
| 流体制御機器 | 16,543 | 17,181 | 638 | +3.9% |
| 合計 | 51,365 | 49,593 | 1,772 | 3.4% |

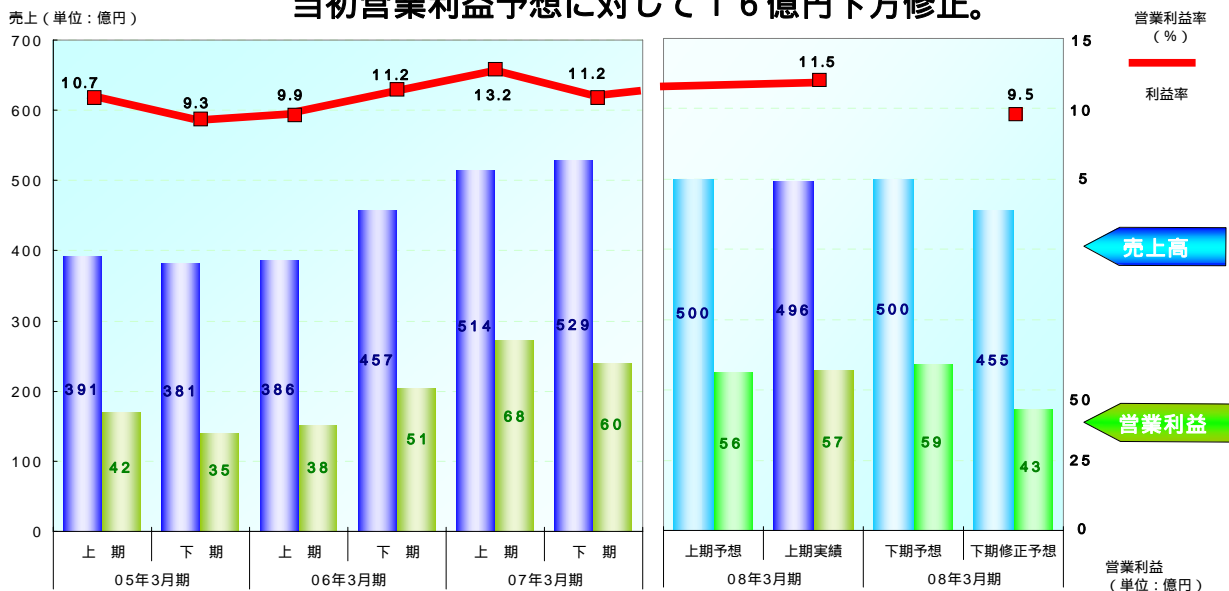
中間期の予想対比と通期の業績予想



全体の売上高・営業利益（半期毎予想対比）

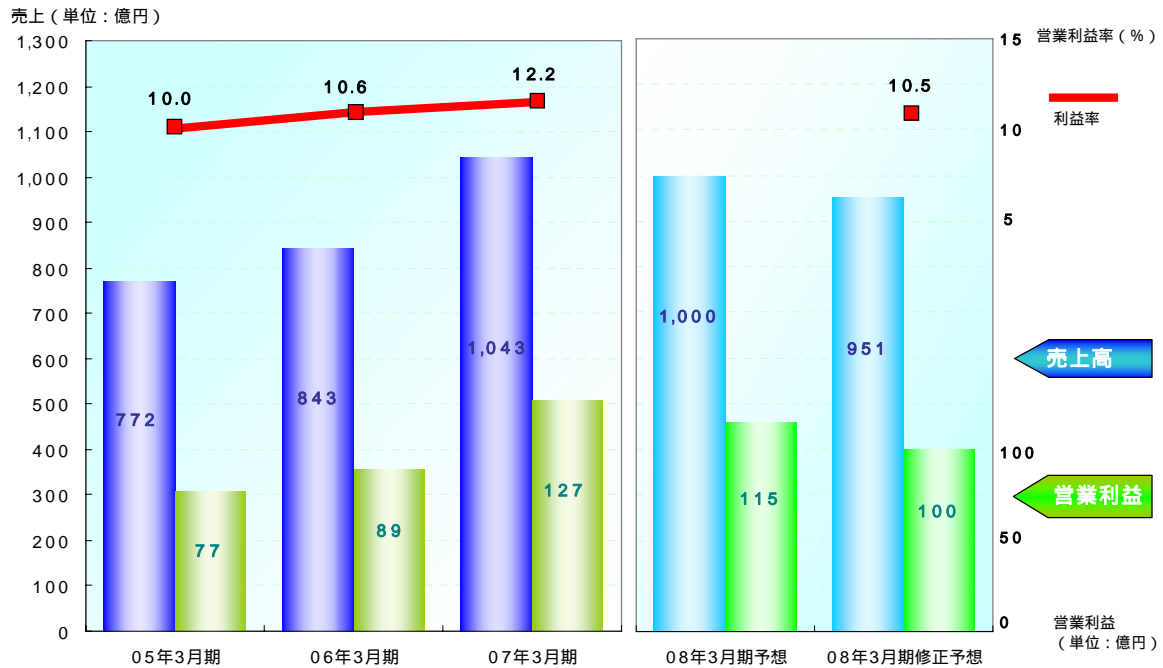
上期実績・・・売上高予想に対し4億円減収。
 営業利益予想に対しては1億円増収。

下期予想・・・当初売上高予想に対して45億円下方修正。
 当初営業利益予想に対して16億円下方修正。



全体の売上高・営業利益（通期予想対比）

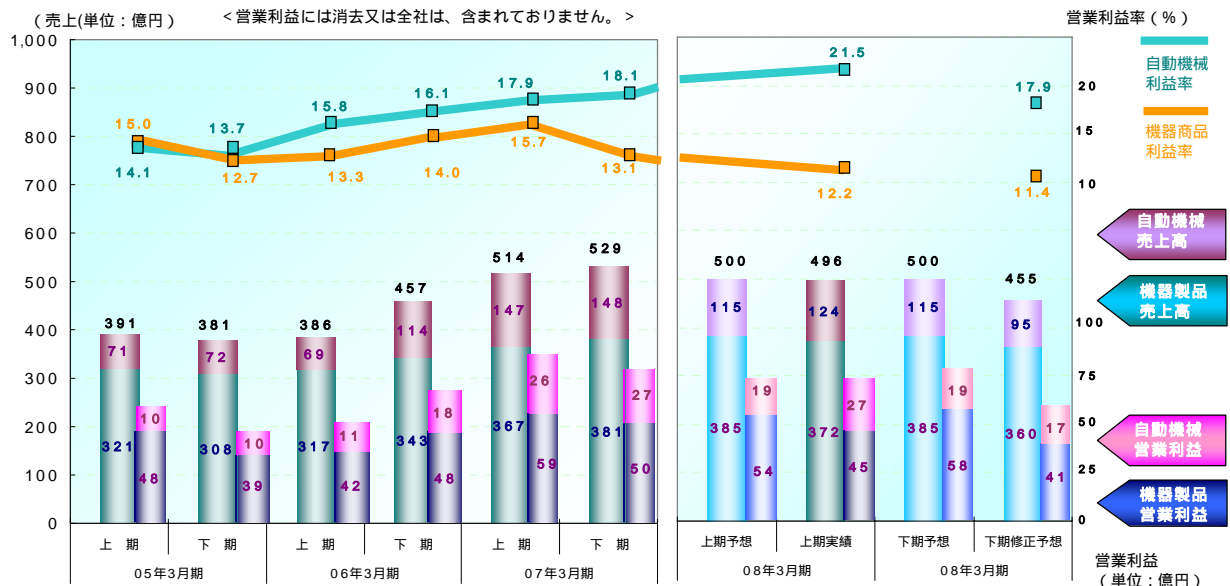
当初予想に対し売上高49億円下方修正、営業利益15億円下方修正。



セグメント情報（半期予想対比）

自動機械 . . . 上期実績、CCFLの検収が順調に進み予想対比9億円増加。
下期はCCFLの受注減少により、20億円の減収を予想。

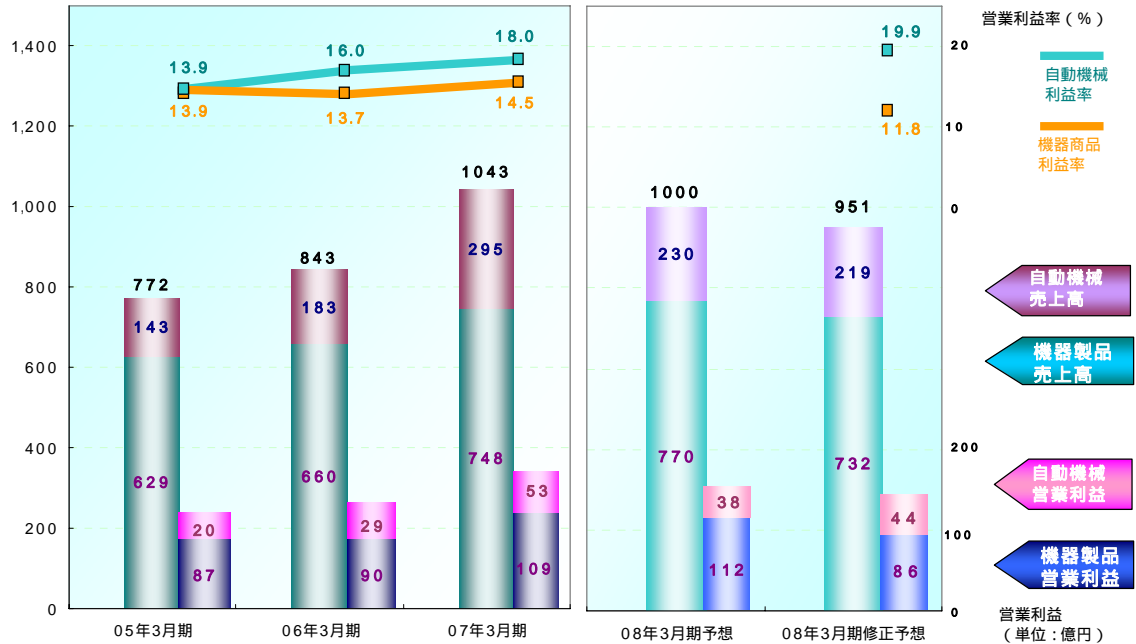
機器製品 . . . 上期実績、自動車、FPDの低迷により減収。
下期は半導体製造装置向け機器の減少により売上高25億円下方修正。



セグメント情報（通期予想対比）

- 自動機械・・・当初予想に対し売上高下方修正、営業利益は上方修正。
- 機器製品・・・当初予想に対し売上高・営業利益ともに下方修正。

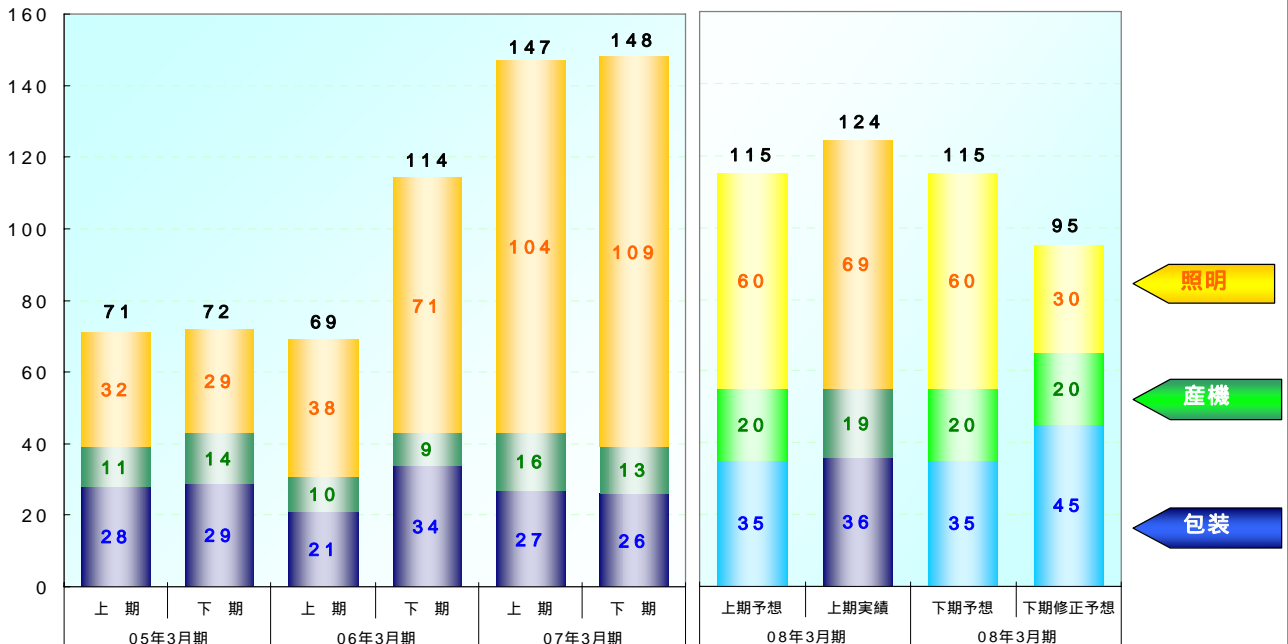
（売上(単位：億円) < 営業利益には消去又は全社は、含まれておりません。 >



自動機械部門 商品別売上（半期予想対比）

- 照明・・・上期予想に対して増収。下期当初予想に対しては下方修正。
- 包装・・・下期当初予想に対して10億円上方修正。

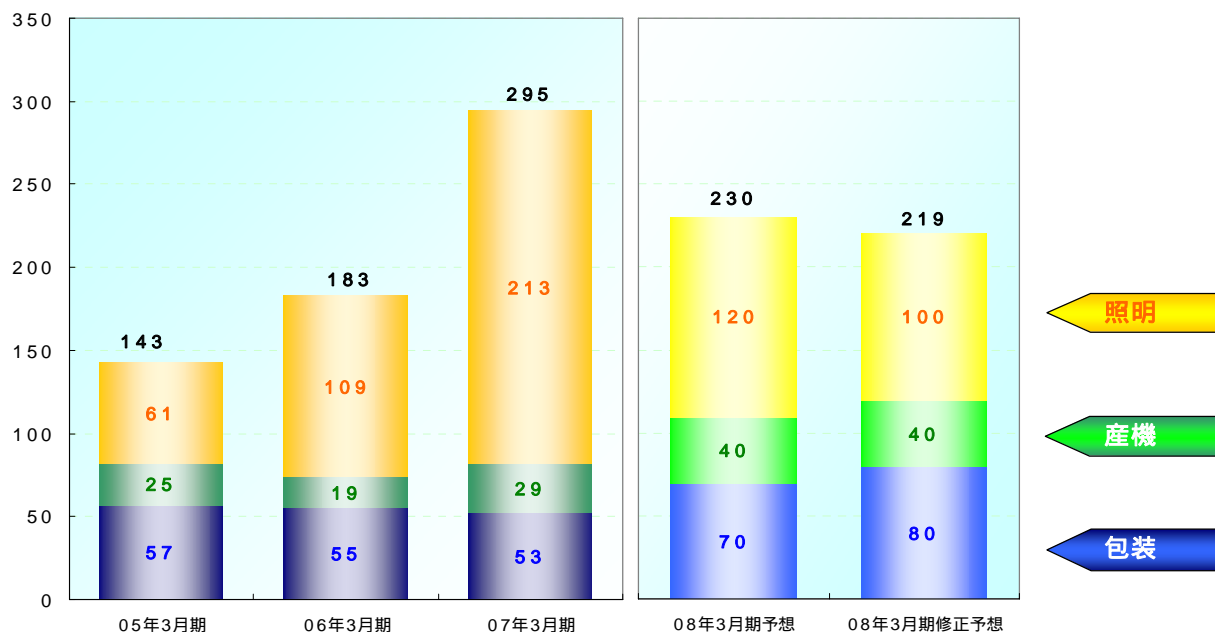
売上（単位：億円）



自動機械部門 商品別売上（通期予想対比）

- 照明 . . . 当初予想に対して20億円下方修正。
- 包装 . . . 当初予想に対して10億円上方修正。

売上（単位：億円）

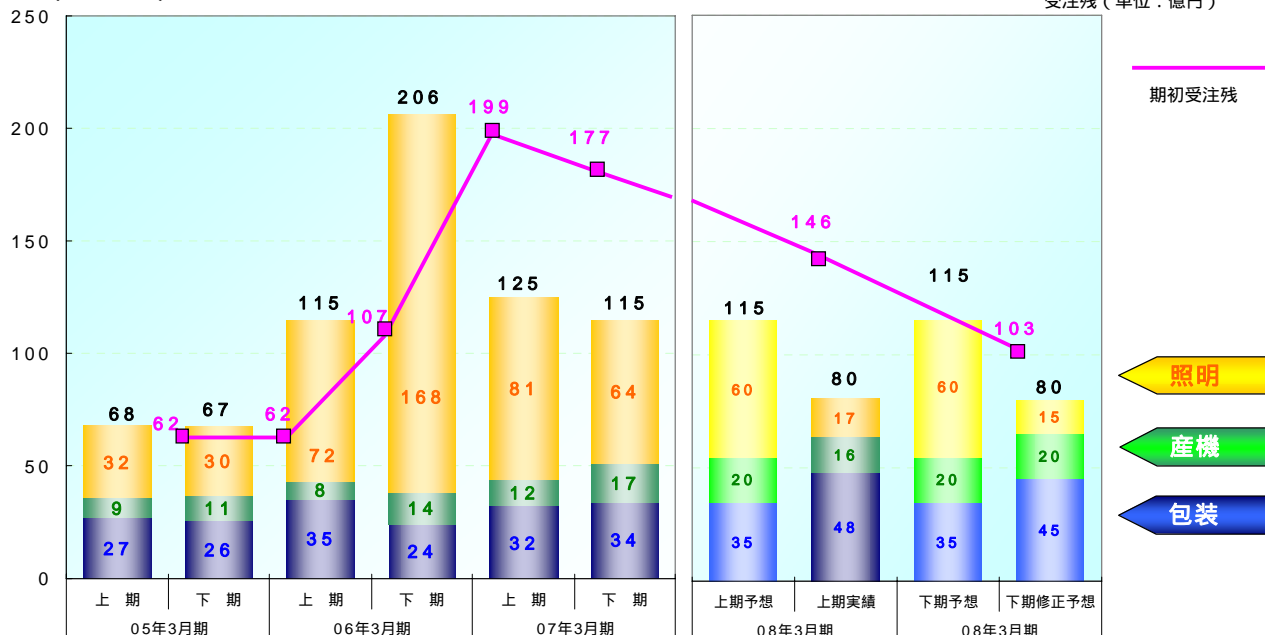


自動機械部門 受注推移及び受注残

- 照明 . . . 当初予想に対し大幅に減少。
- 包装 . . . 当初予想に対し大幅に増加。

受注（単位：億円）

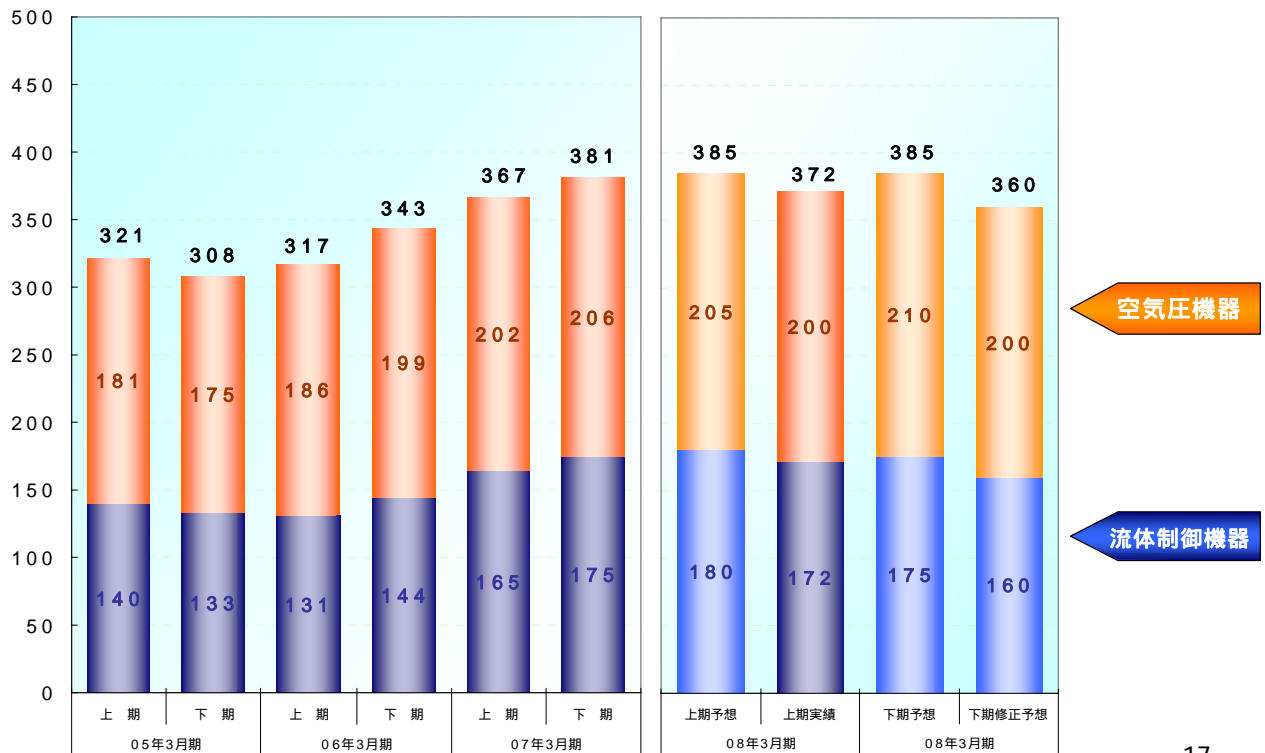
受注残（単位：億円）



機器部門 商品別売上（半期予想対比）

空気圧機器、流体制御機器ともに当初予想を下方修正。

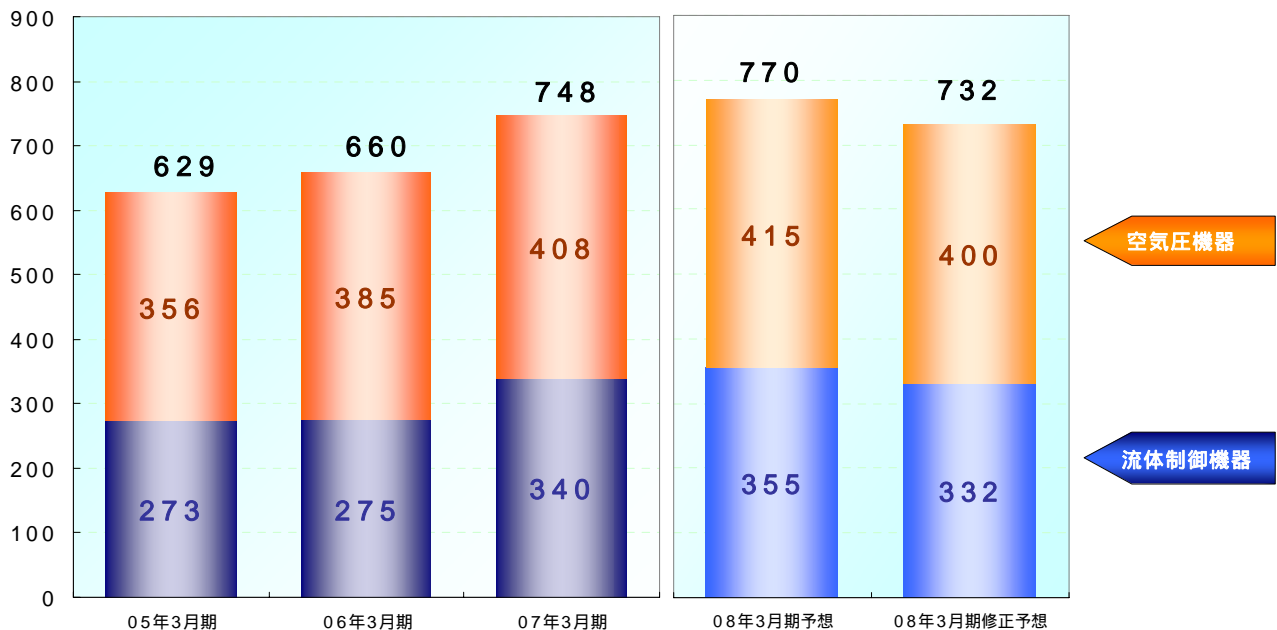
売上（単位：億円）



機器部門 商品別売上（通期予想対比）

空気圧機器、流体制御機器ともにFPD・半導体製造装置関連向け機器の不透明感から下方修正。

売上（単位：億円）



配 当



配当方針と当中間期の配当

1. 配当方針

2008年3月期の中間配当金は期初予想どおり11円とし、
通期でも期初予想どおり22円配当を予定しております。

2. 当中間期の配当

| | | 配当金 | | | 当期純利益 (単体) | 配当性向 |
|------------|----|---------|--------|----------|---------------------|-------------------|
| | | 中間(12月) | 期末(6月) | 年間 | | |
| 2007年3月期 | 1株 | 8円 | 14円 | 22円 | <連結> 7,541百万円 | <連結> 19.3% |
| | 総額 | 529百万円 | 925百万円 | 1,454百万円 | | |
| 2008年3月期予想 | 1株 | 11円 | 11円 | 22円 | <連結> 予想 6,400百万円 | <連結> 予想 約23.0% |
| | 総額 | 730百万円 | 730百万円 | 1,460百万円 | | |

今後期待される商品



自動機械部門の期待される商品

自動車向け大形リチウムイオン電池製造装置

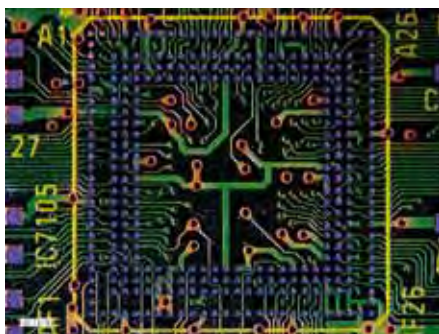
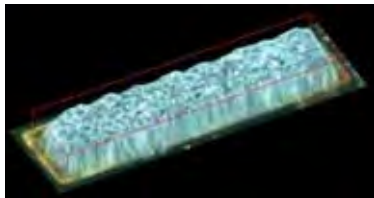
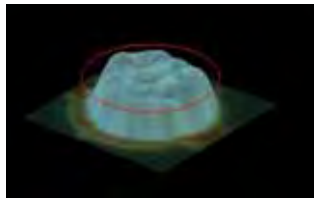
地球環境に優しい電気自動車・ハイブリッド車など
リチウムイオン電池の採用が検討されています。



自動機械部門の期待される商品

三次元はんだ印刷検査機

業界トップレベルの高速・高精度に加え、操作性をも追及したはんだ印刷検査装置



自動機械部門の期待される商品

医療機器向け包装機械

医薬を充填した注射器を包装する医療機器向け包装機械



自動機械部門の期待される商品

多品種・中量生産向け薬品包装機械

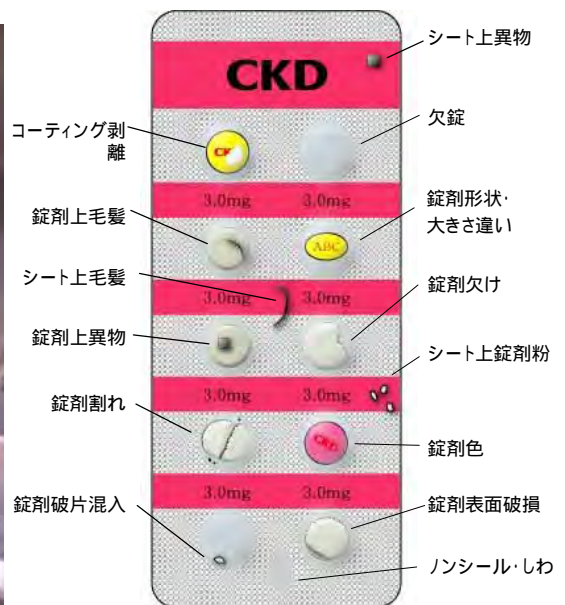
1分間に3,000錠の包装ができる、環境重視の包装機械



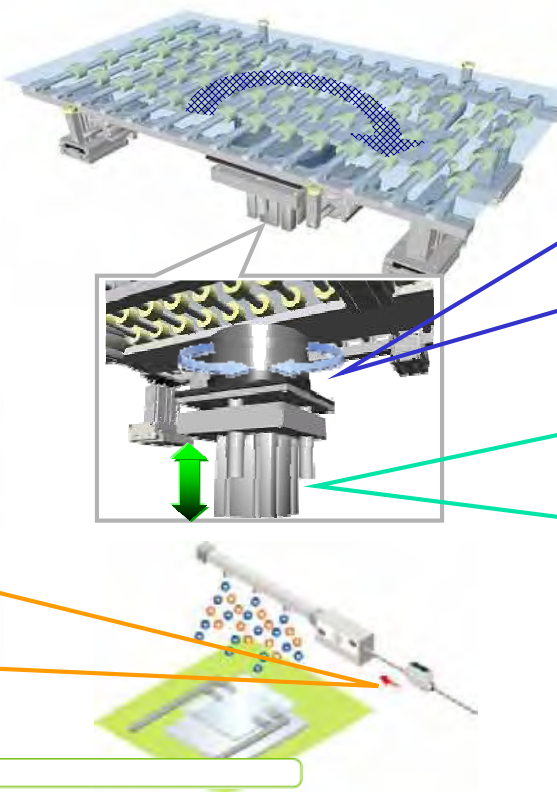
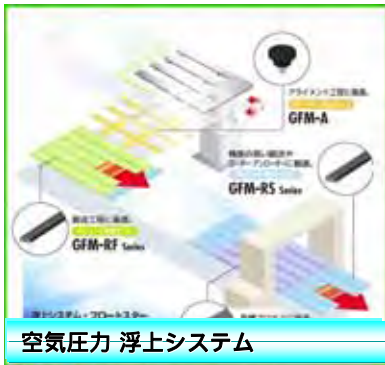
自動機械部門の期待される商品

薬品包装 異物検査装置

人間の目視検査を超える、高性能画像検査装置



機器部門の期待される商品（ FPD関連機器 ）



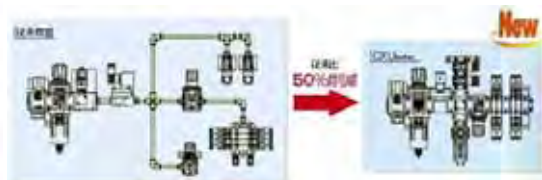
液 品 イオナイザの流量管理

機器部門の期待される商品（ 空気圧機器 ）

工作機械のエアパネルに代替できる注目の新商品

エアモジュールユニット

配管不要・手間要らず



組合せ自在



機器部門の期待される商品（流体制御機器）

工作機械の省エネに貢献する新商品

低圧損型クーラントバルブ



モジュール低圧損型クーラントバルブ



機器部門の期待される商品（ファイン機器）

半導体製造装置用流体制御機器



高耐食流量調整バルブ



液体用マニホールドバルブ

半導体製造装置用ガス制御機器



超小型ガス用集積バルブ



真空圧力 コントロールシステム

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。